



長活き通信

長活きの秘訣を、学びあう。

「長活き」。それは生き活きと長く生きることをあらわす、新しい概念。「あきぎん長活き学校」の2018年度下半期の活動をまとめました。

NAGAI GAKKO REPORT SECOND HALF OF 2018

06

2018



長活き学校2018年度 下半期レポート

秋のオープンセミナー

2018/11/7 「秋田の版画家～勝平得之の生涯～」

秋田市 観光文化スポーツ部 文化振興課 参事 加藤 隆子

あきぎん長活き学校×東京国立博物館 特別授業 「銭谷校長による“トーハク”もの知り講座」

あきぎん長活き学校校長・東京国立博物館長 銭谷 眞美

第4回授業

2018/9/25 食欲の秋！新しい“いぶりがっこ”の味わい方

第5回授業

2018/11/27 刺酒師直伝！冬に美味しいお酒のたしなみ

第6回授業

2018/12/13 たいせつな着物でつくる私のおしゃれ～着物リメイクの可能性～

大森山動物園ガーデニング活動

おまけのページ

芸術の秋。博物の秋。秋田の秋。 あきぎん長生き学校 2018 年秋のオープンセミナー

今回のテーマは、「芸術の秋、博物の秋、秋田の秋。」

秋田ゆかりの版画家 勝平得之と、日本最古の歴史を誇る博物館・東京国立博物館について学びました。

記念講演 [2018/11/7]

「秋田の版画家 勝平得之の生涯」

秋田市 観光文化スポーツ部 文化振興課 参事 加藤 隆子



れました。得之が生まれた鉄砲町は、秋田藩の時代に町割りされた「外町(とまち)」に属しており、職人や商人が住んでいた地区になります。

この「自画像」を見ると、面長で目鼻立ちのはっきりした、いわゆるイケメンタイプの男性であることがわかります。得之は紙漉き職人である父為吉と母スエの長男として誕生しましたが、母スエは得之が12歳のころに亡くなっています。母を亡くした悲しみを癒すため絵に没頭し



自画像

たとされ、母の死はその後の得之に大きく影響を与えた出来事でした。

得之は旭南尋常小学校から中通尋常高等小学校に進み、絵の勉強をするため師範学校への進学を希望していました。しかし、長男ということや家族の反対もあり、尋常高等小学校卒業後は家業を手伝うことになりました。この頃には紙の生産は機械化されていたため、紙漉き業は先細りとなっており、当時の勝平家は冬は紙漉き、夏は左官業を兼業するかたちで生計を立てていたようです。

幼い頃から、紙の配達を手伝っていた得之は、父が丹精込めて漉いた紙が、障子紙などの消耗品として使われていることが悔しかったと、のちに語っています。このような思いが、版画家としての活動に影響していくことになります。

徳治から得之へ

家業を手伝いながらも、得之は夢をあきらめきれず、独学で版画を学びます。当時の得之が魅せられたのは、時代の寵児・竹久夢二でした。夢二独特の憂いに満ちた女性像に大きな影響を受けたと得之はのちに語っています。また、最初は白黒の墨摺り版画に取り組んでいましたが、近所の骨董品店で目にした浮世絵版画の美しさに感銘を受け、彩色版画の制作にかかることになります。

当時の秋田では版画の道具を手に入れることは難しく、金銭的なこともあり、得之は手作りの道具で制作を始めました。版画を刷るためのバレンは、段ボールを重ねて作り、版木用に下駄屋さんから下駄の材料であるホオノキをわけてもらっていたようです。そうして制作した墨摺り作品が初めて秋田魁新報に掲載されたのが、1921年のことです。私たちがイメージする勝平得之の作品とは全く違っていませんか？ 当時は、西洋からキュビズムなどの前衛的な思想が入って



彼

きた時代で、その影響が見てとれます。

墨摺り版画の時代から、浮世絵版画との出会いもあり、色彩豊かな版画制作に着手します。浮世絵版画は、絵師・彫師・刷師の3工程に分業して制作していましたが、明治期に提唱された「創作版画」は、その全工程を一人で行うものでした。得之もその考えに共鳴し、情報も道具もないなか、手探りで勉強を始めます。この頃制作された「四丁目橋の夕景」は、単色刷りや二色刷りなど何度も試し刷りを重ねたうえで、ようやく完成した作品です。こうした試行錯誤のうね納得のいく制作ができたとき、「之(これ)」を得た」ということで雅号を「得之」と名乗るようになります。1928年、得之24歳のときのことです。

得之に影響を与えた二人の人物を紹介します。一人目が、彫刻家の木村五郎です。1920年代後半、全国的に農民美術運動※が盛んに行われていました。得之は、その一環として秋田で開催された木彫講習会において、講師を務めた木村五郎と出会い、作家としての姿勢や、木彫の技術



四丁目橋の夕景



木彫秋田風俗人形

※農民美術運動：版画家・洋画家である山本鼎（かなえ）が提唱した運動。農閑期にあたる冬に農民が郷土色豊かな素材を使って美術工芸品を制作し、販売することにより生活安定に結びつけること、制作を通じて誇りと生きがいをもつことを目的に行われた。

NAGAIKI 2018 OPEN
CEMINAR IN AUTUMN

A small, square illustration in the bottom right corner of the page. It depicts a serene winter scene. In the foreground, a path covered in a thick layer of snow leads towards the background. To the right of the path, a traditional Japanese building with a dark roof and light-colored walls is partially visible. A small, ornate lantern stands on the path. The background is filled with snow-covered trees and a soft, hazy atmosphere, suggesting a quiet night or early morning.

鳥舞

NAGAIKI 2018 OPEN CEMINAR IN AUTUMN

で、まるでスローモーションを見ているように、舞の滑らかさが伝わってきます。得之は大日堂舞楽について、「秋田が育んだ世界に通用する文化だ」と語っていますが、その言葉を裏付けるように、1976年に国の重要無形文化財、2009年にユネスコの世界無形文化遺産に指定されています。

戦後―失われていくものへの思い

戦後、あらゆるものがめまぐるしく変化していくなかで、最も大きく変わったのが農村の姿であるといわれています。得之はいち早くその変化に気づき、その姿を残していくことが画家としての自分の務めであると考えてようになります。そこで制作されたのが〈米作四題〉です。

「刈あげ(秋)」は、農家の人々が協力して稲刈りしているシーンを描いています。が、こちらは得之の作品には珍しく遠近法が取り入れられています。奥行きが感じられ、どこまでも続く田んぼと収穫を喜ぶ人々の様子が伝わってきます。

並行して制作された組物が、農家の1年を12枚の作品で紹介した〈農民風俗十二ヶ月〉です。「わら打」や、冬場の「大根干」など農作業以外の様子も採り上げられています。



〈米作四題〉刈あげ(秋)

〈農民風俗十二ヶ月〉



わら打



大根干

また、祭りの形態が変わったり、廃れていく様子を目の当たりにした得之は、〈祭四題〉という組物を制作しようと考えます。例えば「たいまつ祭」は以前大曲で行われていたようですが、今は行われていません。「かまくら」「たいまつ祭」「七夕」を完成し、最後4作目の「下川原ささら」を制作している途中で体調を崩し、下絵の段階でストップしています。得之が亡くなるまでの十数年は病との闘いの日々であり、〈祭四題〉は未完のままに終わってしまいました。

病になってからは、小品制作が中心となり、身近なものをテーマとした作品が増えていきます。中央展を意識する必要もなく、真に自分の描きたい作品を制作することができたともいえるでしょう。秋田の素晴らしい景色を、全国、世界に知らしめたいという思いから制作を始め、戦後は失われゆくものを描き残すという使命感を抱き、そして最期は、自分自身のために版画を刷っていたのではないでしょう



〈祭四題〉たいまつ祭



あきた路

か。「あきた路」は、得之が最期まで色刷りを試みた作品です。作品として残っているのは単色刷りのものですが、これが得之の最期の作品ということになります。

得之の思い

「美しい自然と年中行事の豊かな秋田に生まれ、育ったことに感謝している。いたるところに尊い祖先の遺産があり、版画家として素材に恵まれていた。これを版画に残し、制作すること、その喜びを与えてくれたふるさと秋田に感謝している」。

そんな言葉を遺し、得之は1971年に亡くなりました。

得之の作品は、大町の赤れんが郷土館で常設展示しています。みなさんご存知のとおり、赤れんが郷土館の建物は旧秋



版画を制作する得之



赤れんが郷土館

生きる私たちが後世に残していかなければならないと考えています。

今改めて得之の文化人としての功績の大きさを実感しています。また、秋田の自然や風物の美しさ、失われてしまったものの多さにも気づかされています。今日紹介したのはほんの一部です。機会がありましたら、秋田のために得之がしてきたことについて是非ご紹介したいと思います。ご清聴ありがとうございます。

◆講師プロフィール：加藤 隆子(かとう たかこ)

秋田市生まれ。秋田市立千秋美術館、秋田市立赤れんが郷土館・勝平得之記念館学芸員等を経て、秋田市文化振興課参事。これまで、千秋美術館の企画展「木村伊兵衛と秋田」、「生誕100年岡田謙三展」等を担当するとともに、赤れんが郷土館の赤れんが館コンサート、勝平得之記念館改修、関谷四郎記念室設置に携わる。秋田魁新報に「郷土を描く 版画家勝平得之の生涯」を連載。

あきぎん長活き学校×東京国立博物館 特別授業 「銭谷校長による『トーハク』もの知り講座」

東京・上野にある東京国立博物館、通称『トーハク』。日本で最も長い歴史を持つ博物館であり、国宝や重要文化財も多数所蔵され、所蔵品は約11万7千点と日本随一のコレクションを誇ります。今回は、あきぎん長活き学校校長である銭谷眞美東京国立博物館長から、トーハクと、その所蔵品についてお話を伺いました。その一部をご紹介します。



みなさんこんにちは。長活き学校校長の銭谷でございます。人生100年時代と言われていますが、私も自分なりに「長活きの秘訣」を勉強はしましたので、ご紹介したいと思います。

ひとつは、生活のリズムが大事だと感じています。よく言われることですが、「早寝・早起き・朝ご飯」、これをしっかり守ることです。もうひとつは、「家に閉じこもらない」ということです。病院でもスーパーでも公園でも、そしてもちろん博物館などいろいろなところに出かけていただいて

人と話をして笑うことが大切です。気持ちを楽に持って、みんなが人生を楽しんで、生きていければいいなと思っています。

それでは早速、東京国立博物館、通称「トーハク」についてご紹介します。東京国立博物館は、明治5年、1872年に創立されました。新橋から横浜の区間で鉄道の営業が始まったことです。トーハクは、旧湯島聖堂の大成殿で開催した博覧会を機に「文部省博物館」として発足しました。当時は、動物のはく製や骨格標本、生きたオオサンショウウオなども展示されていたようです。

明治15年に、上野に移転、鹿鳴館などの設計で有名なシヨサイア・コンドルによるレンガ造りの建物でしたが、大正12年に起きた関東大震災により大破してしまい、7か月にわたり閉鎖を余儀なくされます。震災後、上野公園には今でいうところの仮設住宅が立ち並び、トーハクの復興もなかなか進みませんでした。昭和天皇の即位を機に復興の機運が高まり、昭和13年に今の博物館が開館しました。翌年に開催された東京初の正倉院展は20日間でおよそ40万人が来館するにぎわいとなりました。昭和27年に「東京国立博物館」と改称、現在公開されている全ての展示館がそろい、現在にいたります。

トーハクでは日本美術を代表するさまざまな名品を所蔵しています。

例えば、菱川師宣の「見返り美人図」は江戸時代・17世紀の作品です。これは浮世絵ですが、版画ではなく肉筆なんで

すね。この構図が非常に有名でして、当館のポスターでも女優の中谷美紀さんに同じポーズをとっていただきました。

葛飾北斎の「冨嶽三十六景」も当館の所蔵品です。以前米国のとある雑誌で「この1000年で最も偉大な業績を遺した世界の100人」という特集で、唯一選ばれた日本人が葛飾北斎でした。日本を代表する名作の一つと言えるでしょう。

トーハクでは、これらのコレクションをもとにした総合文化展のほか、季節ごとにさまざまなイベントも企画しています。お正月には「博物館に初もうで」。干支やおめでたいものにちなんだ展示のほか、日本の伝統芸能を楽しんでいただけます。また、国宝「松林図屏風」がお目見えすることも多いです。桜の季節には「博物館でお花見を」。桜をモチーフにした作品と、時期をたがえて咲く庭園の桜を一度に堪能できる、贅沢なお花見が楽しめるイベントです。

トーハクでは引き続きさまざまな企画を予定していますので、東京にお越しの際はぜひお立ち寄りください。



東京国立博物館のコレクション

「第1回 あきぎん長活き学校 中間テスト」を開催しました！

今回のオープンセミナーでは、「芸術の秋、博物の秋、秋田の秋」というテーマに基づき、芸術・博物に関するテストを行いました。難易度の高い問題ばかりでしたが、なんと10名の方が全問正解！成績優秀賞「トーハクオリジナルゴルフ」が贈られました。みなさんも是非チャレンジしてみてください♪

- ① 現在の秋田市大町に生まれた得之。当時、勝平家は何を職業としていたか。



A: 紙漉き職人
B: 木工職人
C: 鍛冶職人

- ② 昭和初期の秋田の町並みを描いたこの代表作の作品名は何か。



A: 雪国風景
B: 雪の街
C: 馬櫓

- ③ 「見返り美人図」の作者は誰か。



〇〇〇〇

- ④ 〇を埋め、以下の作品の正式名称を答えよ。



〇〇〇土偶

- ⑤ 次の()内を埋めよ。
(2018年第3回授業『この酒で百歳まで～天寿酒造杜氏 一関陽介の挑戦～』より)

人の人生に()
お酒を造りたい。
そう思いながら造っています。

★正解は一番最後
「おまけのページ」に
掲載しています！

NAGAIKI 2018 LESSON REPORT

長生き学校 2018年度 下半期授業レポート

[2018/11/27 KAZUNO KOMOSSE]

唎酒師直伝！ 冬に美味しいお酒のたしなみ

（株）関小市商店 専務取締役 佐藤景子さん

「唎酒テスト」から始まった今回の授業。先生は日本酒と焼酎の唎酒師の資格を持つ佐藤景子さん。好みや飲むシーンに合うお酒をコーディネートしていきます。佐藤さんが取り組む「鹿角産のものづくり」についてお話を伺いました。

「鹿角の素材」を活かしたものづくり

ジェラートアイス「和練」は4年ほど前に開発しました。県外への土産として鹿角のものを探したら、ちょうど良いものが無くて。同年代の女性に喜ばれる可愛らしくておしゃれなものを、鹿角のもので作りたいと考えていたとき、ジェラートのメーカーと出会



いました。鹿角産のもので何がジェラートにあうかなあ、と考え、思いついたのがお酒と、お酒の原料であるお米、お酒と同じく醸造しているお味噌です。もちろん全て鹿角産のものを使っています。酒粕も入れてみようか、もっと味が薄いほうがいいか？ など、試行錯誤して作りしました。子どもに人気なのが味噌で、お米は世代性別問わず人気です。お酒は意外と女性に受けています。酒粕の風味がいいんでしょうね（長生き学校では、味噌が一番人気でした！）。トーストに乗せたり、お酒のジェラートにさらに日本酒をかけてみたり、いろいろな味わい方ができます。関小市商店のほか、湯の駅おおゆ、道の駅かづの「あんたらあ」で販売していますので、ぜひお試しください。

「オールかづの」の酒づくり

あるとき、知り合いの米問屋さんから、鹿角のお米「萌えみのり」でお酒を作りたいと相談されました。一般にお酒は酒米で作りますが、アミノ酸など旨味成分がぎゅっと詰まった飯米を使いたい、と。そもそも鹿角のお米を使ったお酒は、ほぼ無かったので、鹿角のお米・水・酒蔵という「オール鹿角」でつくったのが「純米酒みのり」です。このお酒、意外なところから人気に火が付きました。萌えみのりのキャラクター「みのりん」がパッケージになっ

ていますが、ニックネームが「みのりん」という人気声優の方がいて、彼女のファンの方が、萌えみのりのことを知り、鹿角を訪ねてくれたんです。「声優みのりのファン」が、「鹿角のみのりんのファン」にもなってくれたんです。萌えみのりを使った他の加工食品、米粉麺や、米粉ドーナツなど、鹿角のお店を巡り、それをSNSに載せて鹿角の宣伝をしてくれました。東京で物産展を開催すると、そこにも来てくれて、鹿角との縁が続いています。今「関係人口」という言葉が言われていますが、それを地で行っていると感じています。私自身、東京から鹿角に戻ってきて、田舎は何もないと鬱屈した20代を過ごしましたが、県外の若い人に「鹿角ってすごい！ 楽しい！」と言われて、鹿角に対する思いも変わってきました。

お酒を通じて人をつなぐ

鹿角の人たちがお酒を飲んで楽しめるお店・環境づくりをしたい。今の若い世代はあまり飲まないといわれていますが、飲むきっかけがないだけでは、と思います。私たちがお酒を飲むシーンをつくって、20代から「長生き世代」の皆さんまで、お酒を通じて世代を超えて交流できれば嬉しいですね。

◆ さとう けいこ

鹿角市生まれ。株式会社関小市商店 専務取締役。創業85年を迎える酒屋・関小市商店の“看板娘”。日本酒と焼酎の唎酒師の資格を持ち、お酒の選び方や飲み方に関するイベントを開催、地元の素材を活かした「ものづくり」にも取り組む。



たいせつな着物でつくる 私のおしゃれく着物リメイクの可能性く

手作り工房 心紬 代表 黒川恵美子さん

眠っている着物をリメイクし、エプロンなどに変身させる黒川さん。想い出との付き合い方について考えました。

着物との出会いは、高校生のとき。当時茶道を習っていて、同じ教室に通っていた高校の先生が着物地のスーツを着ていたのがとても素敵で、私もいつか着てみたいと思っていました。

その後結婚し、主人と一緒に弱電工場を経営していました。2008年のリーマンショックで受注が減るなか、従業員を雇い続けるにはどうしたらいいか考え、思いついたのが着物リメイクでした。2012年に「手作り工房 心紬」をオープンしました。弱電工場時代からの従業員と一緒に京都にシヨールを見に行ったり、オープンして始めの3年間とはとにかく勉強しました。縫製経験のある3名の従業員とともに、ゼロからのスタートでした。みんなよくついてきてくれたなあと思います(笑)。

「心紬」という名前には、リメイクを通じて人と人の心をつなぎ、一本の糸のように紡いでいきたいという想いを込めています。以前、立派な着物が大量に捨てられているとごみ収集の方に聞いたことがあります。断捨利ブームもあり、タンスの肥やしになっている着物を処分する方が多いようです。でも、親から譲り受けたたいせつな着物ですから、できることなら捨てずに残してほしい。着物を着ることはなくても、日常的に使うエプ

ロンやバッグなどに形を変えることで、思いが繋がっていくと思います。

私は、病気で母を亡くしました。母が亡くなってから、私は母が元気なころに着ていた着物をエプロンにリメイクしました。そのエプロンをつけると気持ちがしゃんとするんですね。ここぞという勝負どきや、気持ちがちよつと落ち込んだとき、母の着物のエプロンドレスを身に着けています。

これまでに6回、着物リメイクのファッションショーを開催しました。シヨールを開催する目的はふたつ。ひとつは、眠っている着物を素敵に生まれ変わらせること。もうひとつは、ステージの上で「主役」になれる時間を味わってほしいということ。ファッションシヨールのモデルを、と言うと、最初は皆さん戸惑われます。でも鏡の前に座ってヘアメイクをして、ドレスに袖を通すと、みるみるうちに表情が明るくなっています。最初の不安な様子はすっかりなくなり、皆さんランウェイを堂々と歩きます。人生の中で数分でも、舞台の上でスポットライトを浴びて「主役」になれる時間を味わってほしいなと思います。

着物リメイクをして思うのは、「明日やる可能性がある」ことが、大きな生きがいになるということです。ファッションシヨールやバザーなど、地域の皆さんと一緒にさまざまな催しをしてきました。これからもそんな機会を提供していきたいと思っています。

◆くろかわ えみこ

大仙市生まれ。旦那さまと共に電子部品製造会社・黒川電子を経営。平成24年、手作り工房 心紬をオープン。着物リメイク作品の製造・販売や各地でのファッションショー開催など地域のにぎわいの場づくりも行う。



食欲の秋！ 新しい「いぶりがっこ」の味わい方

(有)伊藤漬物本舗 代表取締役 伊藤明美さん

いぶりがっこの皮を乾燥させた「カリッキー」や、いぶりがっこを混ぜ込んだタルタルソースなど、「燻す」と「漬ける」をキーワードに、ものづくりに取り組む伊藤明美さん。挑戦を続ける伊藤さんを後押しするものとは？

父が創業したのは約60年前。当時、各家庭で漬物を漬けていて「漬物を売る・買う」という発想がなく、漬物店という存在がありませんでした。もともとは父が農家としてキュウリを栽培していて、規格外のを塩蔵、加工品を作るようになったのが始まりです。

私は東京に憧れて18歳で上京し、デザイン系の学校を出て、そのまま東京で数年働きました。ただ、幼いころから耳元で「跡とり、跡とり」と言われていたため(笑)、ちゃんと帰ってきまして、跡を継ぎ、今に至ります。

現場では30代から70代まで働いていますが、皆とても元気で、風邪をひかないんです。漬物に使う麹のおかげかな。肌も艶々！

実は2013年に工場とカフェをリニューアルしたんですが、明日オープンという日に火事で全焼してしまいい、カフェも全て失いました。どうしようかとい



◆いとう あけみ

湯沢市生まれ。平成13年に、伊藤漬物本舗を継ぐ。秋田産の野菜を中心に、伝統を活かした昔ながらの漬物を作り続けているほか、「漬ける」・「燻す」技術を活かした新しいものづくりに挑戦している。

うときに、母が「なあに、またつくればいいねが」と。それを聞いて「技術」は私の中に残っていると気付きました。周りの方たちの手助けもあり、1か月で販売を再開できました。それから少しずつ、新たなことに挑戦するようになりましたね。「いぶりがっこのタルタルソース燻」ができたのもこの年です。アイデアは常に100個くらいありますが、実現が迫りつきません(笑)。たまにお客様からおしかったというメールを頂くのですが、こんな風にして食べたというレシピを教えてくれて、結構参考になるんです。

皆さんもぜひ、いぶりがっこ作りに挑戦してみてください。燻された大根を漬けるところから始めてみては。2番米(割れたり小さいために選別される玄米)を使うと、驚くほどおいしい「いぶりがっこ」ができます。趣味が高じて本格的になったら、燻し小屋を立ててもいいかもしれませんね。

"あきぎんオモリンの森" 大森山動物園ガーデニング活動



10月10日、大森山動物園ガーデニング活動を開催しました。今回で4回目を迎えたガーデニング活動。春に植えたお花を秋のお花に植え替えしました。また、開園期間の4月から12月のあいだ、長活き学校を代表して3名の方が「ガーデナー」として手入れをしてくださいました。どうもありがとうございました！



NAGAIIKI \ 長活き通信 おまけのページ / STUDENTS' VOICE

長活き学校学生さんから出た疑問、感想、アイデア…一部をご紹介します♪

第4回授業「食欲の秋！新しい「いぶりがっこ」の味わい方」より

「明美先生に続け！ガッコを世界に発信するためのアイデア」と題して、みなさんからアイデアを募集しました。発想力豊かな明美先生の話を受けて、学生さんは何を考えたでしょうか…？

- 秋田港にクルーズ船が寄港するのに合わせて、外国人旅行客に試食してもらう。
—事務局：大きい船だと数千人が秋田にやってきます。一気に広めるチャンス！
- ガッコ単品ではなく、ワインや日本酒と組み合わせる。
—事務局：「ワインにチーズ」ならぬ「ワインにいぶりがっこ」が新しい常識になる日も近いかもしれません。
- ガッコを一口サイズに小分けし、ベルト状にして腰に巻きつける。登山の時など保存食として便利。
—事務局：塩分も補給できるし、疲れたときにガッコをバリバリ齧るのも気分転換になりそうです。

★最後に、先生おススメの食べ方をご紹介します。「大根おろし器で「いぶりがっこおろし」にすると、使い勝手がいいんです。薬味にしたり、お茶漬けにかけてみたり。ガッコそのままだとなかなか噛み切れないという方でも、おろしてしまえば食べられます。ポイントは、少し目の粗いおろし器を使うこと」。

第5回授業「酎酒師直伝！冬に美味しいお酒のたしなみ」より

お酒好きが多数集まった、今回の授業。お酒と身体の関係についての質問も寄せられました。「お酒は好きなんですけど、歳のせいか日によって味が違う気がする…」という声に、景子先生からのアドバイスを紹介します。

「体調、気温、食べ合わせによっても味は変わります。たとえば、肉じゃがのような、甘みのあるお料理に甘口のお酒をあわせると、お酒の甘みがさらに強くなります。『前飲んだときと違う味がする！』と過剰に心配する必要はありません。日によって違う味が楽しめる、というのも新しい楽しみ方です。

お料理に合わせてお酒を選ぶ…というのも素敵ですが、現実にはなかなか難しいですね。もし、その日のお料理とお酒が合わなかったら、飲み方を変えてみてください。お燗にしたり、氷を浮かべてロックにしてみたり。ちょっと辛いと思ったら、お燗してみると飲みやすくなります。ただし、飲みすぎには注意です！」



第6回授業「たいせつな着物でつくる私のおしゃれ～着物リメイクの可能性～」より

思い出リメイクのプロ、黒川さんのお話を受けて、ワークショップ「思い出との付き合い方を考える」を行いました。みなさんの「思い出」について語っていただきました。

- 文学全集などの大きな本は、図書館に寄贈する。自分ではもう読まないが、価値あるものばかり。名前も知らない誰かが読んで、役に立てばいいと思う。
—事務局：未来につながる贈りもの。図書館であれば、しっかり保存してくれますし、安心です。
- 子どものときにもらった表彰状。疎開などで引越を繰り返していたにも関わらず、母が大事に残してくれていた。断捨利を進めているが、これだけはどうしても捨てられない。
—事務局：素敵なお母さまですね。「捨てない」という選択肢もちろんOKです。大切なのは、思い出とちゃんと向き合って、気持ちの整理をすることだそうです。



\ 中間テストこたえ /

- ①A紙漉き職人
- ②B雪の街
- ③菱川師宣
- ④遮光器
- ⑤寄り添える

長活き通信おまけのページで取り上げてほしいテーマなどありましたら、事務局あてご連絡ください。
例：「我こそは長活き学習帳名人！」、「長活き川柳コーナー」、「学生さんによるエッセイコーナー」などなど。
ご要望は、郵便またはメールでお願いします。

郵便：〒010-8655 秋田市山王三丁目2番1号
メール：nagaiki@akita-bank.co.jp
秋田銀行 経営企画部 長活き学校事務局 宛

あきぎん長活き学校 受講までの流れ

長活き学校 長活きの秘訣を、学びあう。



1. 学生登録をします。

秋田銀行本支店で学生登録の申込み手続きをします。あきぎん長活き学校は、事前登録制の学校です。授業へ申込み前に、学生登録の申込みをお願いいたします（「学生登録申込書」にご記入の上、秋田銀行本支店へお持ちください）。



2. 学生証が届きます。

学生登録をされた方には、所定の手続きを経て速やかに学生証を郵送いたします。受講申込みの際や授業当日に必要となりますので、大切に保管してください。



3. 受講申込みをします。

あきぎん長活き学校の授業を受けるためには、毎回受講申込みが必要です。毎回テーマや先生、会場が異なるからです。ご自分の都合に合わせて、「学びたい」と思った授業を見つけたら、お近くの秋田銀行本支店で、ぜひお申込みください。



4. 受講票が届きます。

授業開催の1週間前までに受講票を郵送いたします。定員を超えた場合は抽選を行い、抽選結果は受講票の発送をもって代えさせていただきます。抽選に外れた場合は、個別のご連絡はいたしませんのでご了承ください。

当日は、学生証、受講票をお忘れなく！
会場でお待ちしています。

お問い合わせ先

秋田銀行 経営企画部
長活き学校事務局
☎018-863-1212
(代表)